



手芸・編み物サークル、おはなしの会 ポケットが市立図書館に寄付

手芸・編み物サークル（山浦登喜子代表）が11月18日、おはなしの会ポケット（三木和枝代表）が11月27日、水軍まつりでのバザー収益金を市立図書館に寄付しました。

「手芸・編み物サークル」は、市が行っている出前講座がきっかけで自主グループとして発足。10人の会員が中央公民館で月1回集まり、手芸や編み物などをして作品を市民文化展に出展するなどしています。「おはなしの会ポケット」は、15人の会員が子どもに本に親しんでもらおうと、市立図書館で子どもたちを対象に、毎月1回読み聞かせや、毎年恒例の「ポケットのクリスマス会」を開催しています。

それぞれ市立図書館の図書購入費にしてほしいと、同館を訪れ、36,480円（手芸・編み物サークル）、73,933円（おはなしの会ポケット）を山崎館長に手渡しました。



松浦市文化・スポーツ功労表彰

「松浦市文化・スポーツ功労表彰」（文化部門）の表彰式が11月22日、文化会館で開催されました。

表彰式は、市民文化祭・舞台発表部門の開会行事の中で行われ、森田久光ひさみつさん（志佐・丹花、84）が松浦市文化功労賞を受賞されました。

森田さんは、長年、書道の指導者を務められ、後進の育成および本市の文化の普及・発展に貢献されています。



藤田英敏ひでとしさんが全国表彰

藤田英敏さん（調川・前浜、47）が11月18日、日本PTA全国協議会の個人表彰を受賞されました。

藤田さんは、平成15年度から調川小PTA会長を務めながら、市PTA連合会の副会長に就任。17年度からは同連合会会長に就任し、約4年間、県PTA連合会の理事も務められました。

この間、市町村合併後のPTA連合会の統合にも尽力され、中学・高校の学校評議員、学校給食共同調理場運営委員、市少年センター運営委員、市文化会館運営委員、松浦署警察協議会委員などを歴任。学校教育・児童生徒の食生活・安全・文化向上など多面にわたり、市民・児童生徒を含めた幅広いPTA活動に努めたことが評価されたものです。

また、同月22日には県PTA連合会の個人表彰も受賞されました。



まちの話題



作品や舞台を披露

平成21年度市民文化祭が11月20日から22日にかけて、文化会館で開催されました。

作品展示では、書・絵画・写真・俳句・短歌・手芸・工芸・生花の約200点が展示され、茶席も設けられました。舞台発表では、日本舞踊・コーラス・フラダンス・三味線・詩吟など34団体が活動の成果を披露。日ごろの制作活動の成果を発表した作品や練習の成果を発表した舞台発表に、会場を訪れた人たちは芸術の秋を満喫しました。また、今年は同会場で長崎県美術展覧会公募移動展が開催され、絵画・彫刻・写真・書など約100点が展示されました。



「^{まとう}的射ち」と「^{いなまい}稲舞」を奉納

白浜神社の秋の大祭が12月2日、同神社で行われ、今年の豊作を感謝し、来年の豊作を祈願する「的射ち」と「稲舞」が奉納されました。

的に当たった矢の数で来年の豊凶を占う「的射ち」では、中川明宏宮司が神殿の天上二隅に取り付けられた的めがけて3本ずつ矢を放ち、直径60センチの的にすべて命中させました。

また、「稲舞」では、今年収穫した稲穂の束を白石海斗くん(5歳)が担いで、中川宮司と一緒に舞を奉納。その稲の穂を集まった氏子など約60人に配り、翌年の豊作を祈願しました。



中野OB会が清掃活動

御厨町中野地区の住民でつくる中野OB会(福田政博会長)が11月29日、市道沿いの清掃を行いました。

同会はボランティア活動を目的に昭和59年に発足し、50歳代を中心に会員は28人。年4回、市道に飛び出した竹や大木の伐採、カーブミラーなどの清掃を行っています。この日は、約20人の会員が、チェーンソーなどを使って市道脇の樹木を伐採したり、高所作業車を使って高いところの枝を切ったりし、ダンプ・重機で運搬処理を行いました。

大しめ縄張りで無病息災を祈願

笛吹地区に江戸時代から伝わる伝統行事で、笛吹神社の秋の例大祭の大しめ縄張りが12月6日、笛吹神社で行われました。

今年は、日隠・笛吹地区の約30世帯の住民が新わらを持ち寄り、長さ約6.5メートル、直径約50センチ、重さ約300キログラムの大しめ縄を朝8時から約4時間半かけて作り上げました。

完成した大しめ縄は、鳥居のそばの2本のマキの木の上に張られ、今年1年の豊作などへの感謝と、来年の無病息災・五穀豊穰が祈願されました。



お菓子づくりや年賀状づくりなどに挑戦 —松浦東高ならでわ講座—

専門知識を市民に教える学校地域開放講座が11月28日、松浦東高校(山口和秀校長)で開講し、12月19日までの計5回、お菓子づくりやパソコンを使っての年賀状づくりなどの講座が行われました。

県教育委員会が、学校の教育的機能や施設を開放し、市民の文化活動の促進を図るため毎年開催しているものです。

今年も、東高だからこそ受けられる講座内容を中心に「松浦東高ならでわ講座」を開催。市民14人が受講し、同校の9人の教諭が講師を務めました。



特産品「アールスメロン」を販売

松浦メロンまつりが12月6日、海のふるさと館で開催され、市の特産品のアールスメロンを販売しました。

今年のアールスメロンは、糖度14度以上と甘さも十分でネットの張りも上々の出来。同施設を訪れた市内外からの買い物客が立ち寄り、用意された「爽潤果」などのメロン約150ケースは次々と売れていました。

また、会場に設けられた宅配コーナーでは、新鮮なメロンを遠くの知人や親せきに送ろうとする人の列もできていました。

